

かいぞう

地区広報



勇壮に舞う

——西阿倉川(御厨飽良川)神社——

その歴史も

古く

いつ、当社が建立されたかは詳らかではありませんが、慶長六年(一六〇一年)の棟札に「牛頭天王」を祭っていたとあり、またそれ以前の検地帳にも、「天王宮」「宮北」「宮之西」「宮之上」等の地名が見られ、この地が現在の神社附近であることから、天正の頃には、すでに鎮座していたであろうと推測されています。

明治になってから、スサノオノミコトを祭る一方、社号を「村社御厨飽良川神社」と定め、近くにあつた春日神社、山神社をも合祀して現在の姿になってきたと言われています。

郷愁を誘う

笛の音

毎年秋の大祭には、五穀豊穣の祈願と感謝を兼ねて、シシ舞いが奉納されます。昔から変らぬ笛の音が、家々に聞こえてきます。

西阿倉川自治会代表

伊藤 末男



地域づくりにご活用を

海蔵地区市民センター新築移転

海蔵地区市民センター
館長 松田 努

海蔵地区市民センターの新庁舎が昨年七月に完成し、以来、早や八ヶ月ほど経過致しました。

建設計画が出されてから完成に至るまで、何かと協力賜りました地域の皆様方、あるいは関係各位に、改めて御礼申し上げる次第です。

さて、地区市民センターは、地域の皆様方の諸活動を促し、豊かで住み良い街づくりに資するための拠点施設として位置づけられております。

すでに、各種団体やグループの活動の場として数多くご



←消防車庫

利用戴いておりますが、今後地域づくりにむけて、一層有効にご活用戴きたいと願っております。



落成式風景



市議会議員

堀内 弘士

山手中学校の旧体育館が完成したのは、確か昭和三四年の三月だったと記憶しています。この年、四日市周辺が伊勢湾台風に見舞われたのも忘れられない思い出です。

あれから二六年、今更乍ら自分の年令を考えさせられる昨今ですが、当時の思い出として、体育館の床に畳を敷いて上村校長が陣頭指揮で柔道の指導をして居られた姿が印象に残ります。

あの体育館

を使って何千人もの卒業生が立派な社会人として巣立って行きました。時代の進歩を見守ってきた館も老朽化して来ましたが、丁度五年前に提出した新築の要望が、今、見事に完成を致しました。

近代規模の新しい体育館で卒業式を迎えられる本年度の卒業生は、本当に幸運児だと思います。しかし、これが完成する迄の多くの方々のご苦勞を考へる時、今後、この施設を大切に有効利用していただきたいものと心から念願する次第です。



山手中学校校長

武藤 成章

つい先ほどまで聞えていた、部活動の生徒達の元気な声も消え、人影もなく静寂に戻った体育館に一人入ってみると、暗さとおめたい透き間風が手伝ってか、不思議に体育館全体が古く、弱々しく感じられました。

思えば、昭和三四年三月、当時の教育関係者らの喜びの中に完成し、市内の中学校の羨望の的であったこの山手の中体育館。

以来、二十余年の年月が

流れ、その間、山手中学校に学び、巣立った何千という若者達の、身体を鍛える場、感激にひたる場、楽しい催し物の場として、更に地域の皆さんとの交流の場として、常に学校は言うまでもなく、地域の教育力向上のための中心的な施設としての役割りを充分に果たして、間もなく解体、撤去されることになりました。

この老いた体育館に満腔の敬意を表し「有難う」「お世話様になりました」と一礼、私は外に出ました。

務めを終えた体育館に代り、数年来の念願がかない、

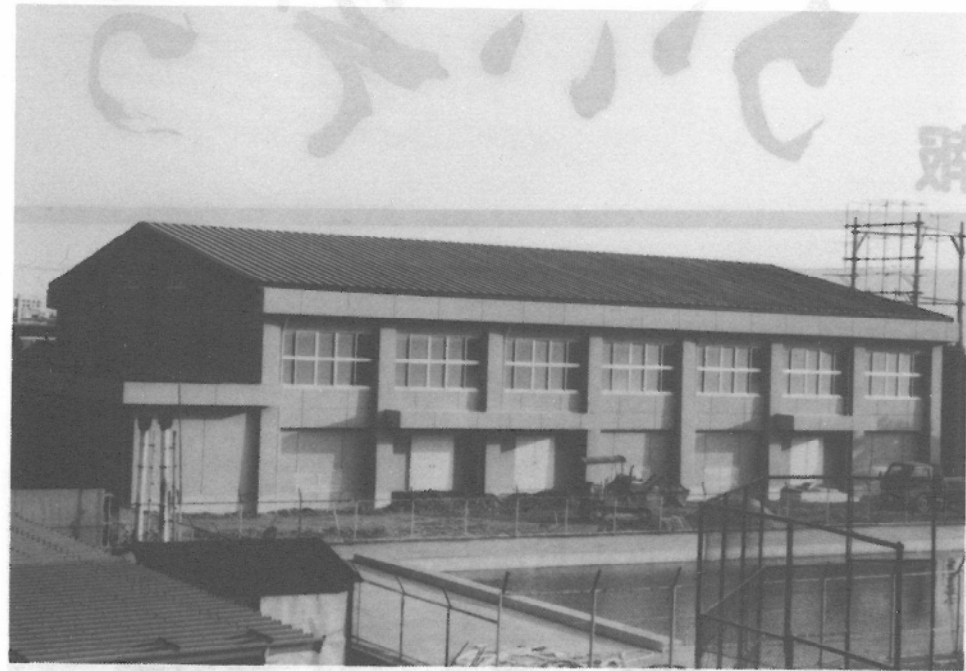
関係の皆様方のご理解とご協力で工事も順調に進められ、新体育館が近々完成の運びになりました。建設に至るまでの皆様方のご苦勞は、決して忘れません。

今後は、この喜びとそれに対する感謝の心で、新体育館にふさわしい教育の充実を図り、歴史と伝統のある山手中学校教育向上のため尽す所存です。

今後とも、一層のご支援、ご協力をお願い致します。

完成間近か...山手中体育館卒業式は新館で

老朽化のため、建て替え工事を行っていた山手中中学校体育館は、三月には完成の運びとなりました。新館は、卒業式から使用を開始し、以後、運動に励む生徒たちの賑やかな声が聞えてくることになりま



関係者の喜びの声

山手中学校PTA会長

太田 南海雄



地域の皆様のお陰をもちまして、待望の山手中中学校体育館が新築されました事を心より慶び、感謝致している次第です。PTA代表として厚く

御礼申し上げます。

私がこの中学校を卒業と同時に新築された現体育館ですが、以来、体育の授業に、クラブ活動にと、幾千の生徒の成長、発達に貢献してきました。今、古くなって取り壊されようとしているのを見つめていますと、様々の想いが巡り、感慨無量です。

育ち盛りの中学生にとつて勉強はもとより、強固な体力

形成が必要なのは今更申すまでもありません。そのためにも、立派な体育館をと望んで参りました。

その願いのかつた今、生徒諸君におかれては、若さと力強いエネルギーをスポーツにぶつけ、精神的にも肉体的にもさらに鍛えられんことを期待しております。

体育館建設委員会委員長

熊本 富郎



念願であった新体育館は完成も間近になりました。市当局はもとより、今回、新体育館の用地提供等に御協力下さいました地元の方々や自治

会、PTA、建設委員会等、多くの人達の御尽力に対し、深く感謝申し上げます。

顧みますれば旧体育館は昭和三十四年に建設され、四半世紀の間、多くの卒業生を送り出してきました。しかし、その体育館もここ数年、老朽化もひどく、新体育館の建設が各方面で叫ばれてきました。多様化した現代社会で青少年のより健全な育成には、

こうした教育諸施設の充実が極めて重要な役割を占めていると云われています。

今後はこの新しい体育館にて、体育の授業はもとより、集会、クラブ活動等にフルに活用され、その教育効果を期待したいと思っております。

最後になりましたが、体育館建設に従事された関係各位に対してお礼申し上げます。

海蔵地区連合自治会長

中島 正夫



念願の体育館が落成するに至りましたことを、皆様方と共に慶びたく存じます。思えば、現体育館の改築の聲が出されてからこの方、学

校・PTA関係者はもとより、幾多の地域の方々のお力添えがあったことか、筆舌に尽きません。

さらに、建設が具体化した段階では、厳しい財政事情にもかかわらずご配慮賜りました市当局、並びに、祖先からの大切な土地を快くご提供下さいました地主の皆様、海蔵地区住民を代表して心から深く御礼申し上げます。

人間形成の上で、極めて重要な時期にある中学校教育。勉学に、スポーツに秀れた成績を納めておられる山手中教育に、新体育館はさらに大きく貢献するものと思われま

生徒諸君におかれては、これら関係者のご努力を忘れることなく、先輩諸氏の残した伝統を受け継ぎ、一層研さんされるよう望む次第です。

海蔵堤の桜

急激に増えた見物人

寒さが去ると、桜の季節がやってきました。古くから、常に日本人には桜に親しむ心があり、それは今日でも変わりがない様に思われます。

しかし、それにしても、昨年の海蔵堤の花見客の「破格」の人数は、一体どの様に理解したらよいのでしょうか。四、五年前では、とても

想像のつかない状態でした。昨年は特に寒さが厳しく、かつ長かったため、じつと家の中にいたのが、暖かくなったら急に外に出たくなったという人々の冬のからの解放感が大きく作用したことは確かでしょうし、また最近、堤防や河川敷が整備され、北勢地方では、極めて交通の便の良

い、美しい花見の場所、との認識が深まっており、その結果が多数の人数を誘ったとも考えられます。

もちろん、長年にわたり、下草刈りや消毒、苗木の植樹

昨年大迷惑の桜堤沿い

桜の名所となった海蔵堤。地区民はもとより、市民の心なごませる場であつて欲しいという願いも、昨年は完全に打ち砕かれる結果となつてしまいました。

人、人、人の波、堤防上も河川敷も、ゴザを敷いての大宴会。自前のコンロでバーベキュー、酒・ビールにポリウムいっぱいのカラオケ。遅くまで延々と続きます。

この間、人ごみの中へ車は入ってくる、近所の民家へはトイレや電話を借りに、入れ替り、立ち替りやってくる。ひどい時には、寝入ってからでも玄関のブザーを押し続ける有様でした。

明ければ、一面ビンヤカン、食べ残しの箱や紙くずの野。もう、ここまでくると、桜

など、桜並木の保存にご尽力下さった海蔵堤保勝会の皆さん方がいらしたからこそ、今日の姿があることは、言うまでもありませんが……。

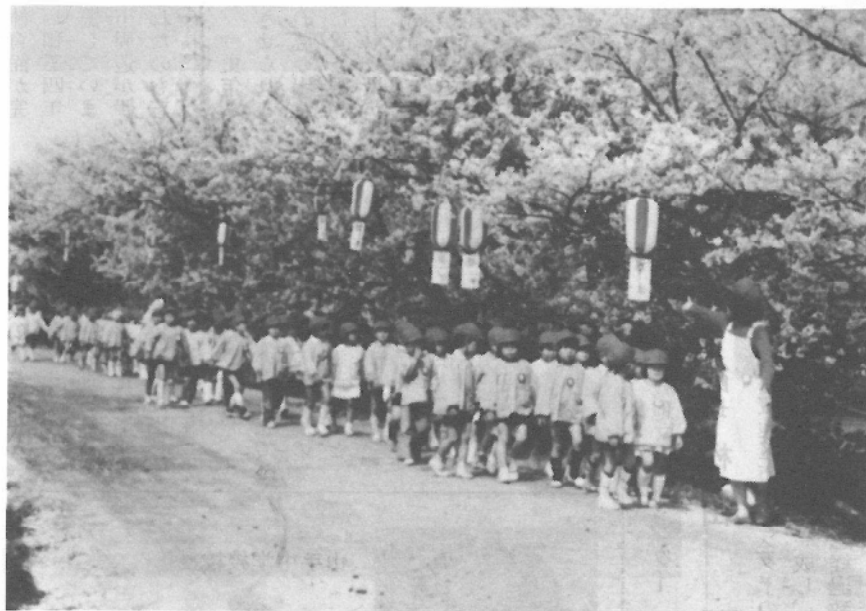
公衆電話やトイレの設置など

保勝会の世話役の方々や、自治会役員さんに苦情が寄せられたことがその実情を如実に物語っています。

保勝会では、桜の木を全部切り倒せという極端なまでの声を耳にしつつ、そしてまた会員自身見物人のマナーの悪さに怒り、落胆しつつも、やはり桜並木は大切に保存してゆこうと決意されました。

以来、何回となく会議を持ち、協議してこられた結果、本年は当面、次の様にしてゆきたいと考えておられます。

- 一、トイレを二ヶ所設置する。
 - 二、臨時公衆電話を二ヶ所設置する。
 - 三、車輛の進入規制をすることと、駐車場を指定する。
 - 四、夜十時に終了し、以後自粛を呼びかける。
 - 五、市の広報に掲載して、見物人のマナーの向上を訴える。
- 最終方針は、関係方面と協議して、二月中には決定される予定です。
- 保勝会会長の富永正洋さんは、「決してこれで全てが解決するとは思っていません。今は、美しい花を咲かせ、大勢の皆さんに楽しんで戴きたいという気持ちと、昨年の様に、ご近所に迷惑をお掛けはしまいか……という期待と不安が交錯しているのが現実です」と謙虚に話していらっしゃいます。どうか海蔵地区の皆様のお暖かいご理解をお願い致します。



手づくりの運動会

野田二丁目自治会長 徳丸三郎

十一月三日、悟真寺南広場において、自治会主催の野田町運動会を開催致しましたところ、子どもから高齢者まで総数約三〇〇人、町内のほとんどの世帯からの参加で、楽しい半日を過ごすことができました。

準備や運営には、主として野田地区スポーツクラブにお世話になりましたが、参加賞を除き全て手づくりで、野田町ならではの素晴らしい運動会となりました。

競技では、特に熱のこもったものとして、組対抗綱引きとマラソンがありました。綱引きは、自治会組織の組単位でチームを作ったため、各チームとも息はピッタリ。観ている人までも手に力が入りました。

また、町内周辺をコースとした2kmマラソンでは、約50名が参加され、この中には50才半ばの人であれば園児もいると



海蔵分団の現況について

消防海蔵分団長 河辺博史

海蔵地区の火災発生は年々減少し、昨年度は建物火災ただ一件のみにとどまり、他地域に比べて最も低い状況となっております。

このことは、地域住民の皆様への火災予防への意識の高さ



を物語り、地域消防の任にあたるものとして、誠に喜ばしいことであります。本年度も火災発生ゼロ地域を目指して、地域関係諸団体の協力を仰ぎ火災予防の啓蒙活動を展開する所存であります。

また、昨年には、海蔵地区市民センターの移築に伴い、海蔵分団車庫も装いを新たに新築され、分団全員が郷土愛護の精神にて、その責務を全うする覚悟しております。さて、海蔵分団は、先輩諸

氏の努力と伝統により高い評価を受けておりますが、また団員の高令化という問題も抱えております。

都市化傾向と、自営業者の減少に伴い、消防団員適格者が不足がちであること、加えてレジャー志向の社会風潮によって、責任、義務、規律のみが強調される入団は、若者層に忌避されること、等がその原因かと思われれます。各自

政治の皆様の努力にも抱らず、その充足思うにまかせない状況です。

私は、当分団を若い世代に引継ぐため、地域の皆様と共に考え、改善すべき点は積極的に

被表彰者の皆さん(敬称略)

三重県消防協会長表彰

精勤章 班長 白木征夫

三重県消防協会北勢支会表彰

表彰徽章 団員 池田 章

団員 水谷 清

四日市市長表彰

功勞表彰 副分団長

石崎陽一

的に関係機関に働きかけてゆきたいと考えております。どうか、深い御理解と御支援を切にお願い致します。

海蔵文庫も 新館で

文庫理事長 太田友三郎

昨年七月、センターの移転に伴って、海蔵文庫も引越し致しました。

冷暖房のきいた、きれいな図書室になって、子ども達も大喜びです。毎週水、土曜日の午後開館していますが、常に50、60人の子どもがやってきて、本を読

み、借りてゆきます。引越しを機に、古くなった本の買い替えや新刊の購入、そして、一般向きの文庫本も買入れるなどして、充実をはかってきました。早いもので、文庫開設以来本年六月で丸十年になります。今後、さらに「子ども達に良い本を、より多く」を目指して、親しまれる文庫にしてゆきたいと考えております。



地区社会福祉協議会主催の文化祭作品展が、去る11月3・4日の両日開催されました。寄せられた作品の数々はどれも素晴らしく、海蔵地区の文化レベルの高さと幅の広さを改めて感じる事が出来ました。

この展示会が、出品者のもとより、参観者をも含めて、地域文化の発展に一定の役割を果たしたことは確かでしょう。

(小・中学生による福祉画、習字作品も同時展示されました)

↑陶芸

文

地区

化



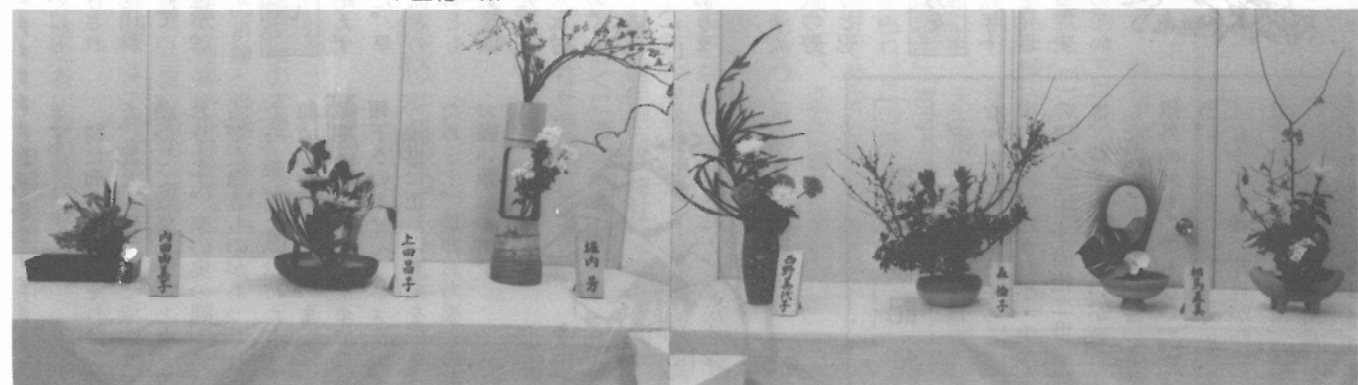
→書道



↓生花の数々

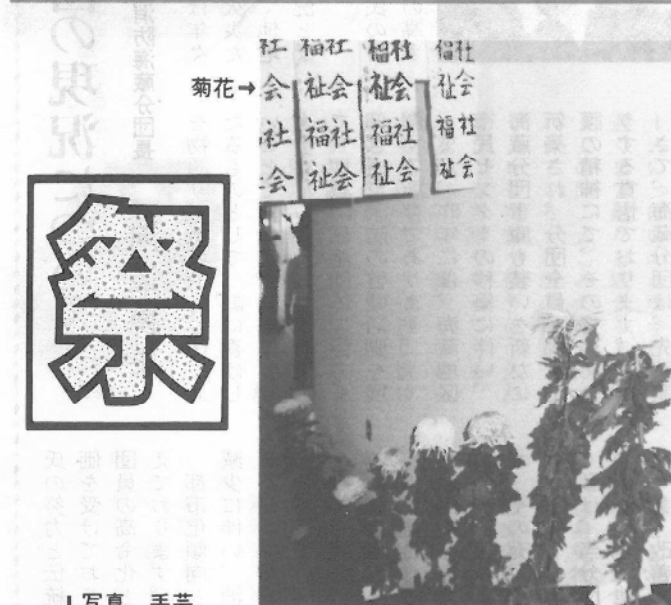


←見学者も多く
→盆栽など



↑小・中学生による福祉作品

↓絵、盆石など



↓写真、手芸

【排水路の整備すむ】

朝鮮学校北側(道路下)を流れる羽津二号幹線も、昨年には近鉄線の下を通過し、現在、阿倉川町地内、富士硬質陶器前にて工事を行なっています。

また、海蔵小学校南の堀川も、本年度分改修工事が終わりました。その他、各支派線も逐次整備されつつあります。



三ッ谷地内の工事現場

【高齢化社会と人権について学習(婦人会)】

婦人会では、11月~12月に、地域ブロック計6ヶ所で、学習会を開催しました。映画「ゆがんだ視線」及び「21世紀の老人たち」を見、市教委社会教育課職員の話聞いて、婦人としての役割を考える機会となりました。

【将棋、囲碁愛好会にご参加を】

老人クラブの中から将棋、碁の好きな人たちが集まり、午後のひと時を楽しんでいます。「小、中学生から一般の人まで、お好きな方は是非ご参加下さい」と呼びかけています。

毎週月曜日午後1時~4時 海蔵センター1階日本間です。

【もうお済みですか! 印鑑登録手帳の切り替え】

市では昨年7月より、印鑑登録手帳の切り替えを行なっています。まだお済みでない方は、6月までにセンターへ手続きにおいで下さい。

持参して戴くもの ●本人が窓口へ……印鑑登録手帳、登録印鑑
●代理人が窓口へ……印鑑登録手帳、登録印鑑、代理権授与通知書、代理人の印鑑

【「善意の袋」御礼】

例年7月に地区社協からお願いしております「善意の袋」は、本年度506,489円の多きに達しました。遅くなりましたが、ここにご報告致すとともに厚く御礼申し上げます。

【海蔵地区 人口数(60.1.1現在)】

男 5,075 女 5,180 計10,255
平均年齢 36.4才 70才以上 684人

一、はじめに

「海蔵地区の地名を調べて」も四回目となりました。第一回目には、地名を調べる意義などを述べました。ことに、地名は時代と共に生きていることを強調しました。それは、地名研究や旧地名保存などの動きをもたらせていることも述べました。最近では、地名を題材にした社会科の授業の成果が、全国各地から報告されています。

さて、このような動きの中で、二〇二一〜二〇二三年の間に、四日市市においても新町の設定がなされています。

例えば、富田地区に富田栄町ができました。新町が設定されることは喜ばしいことですが、他方では旧町名が滅失したこともあります。

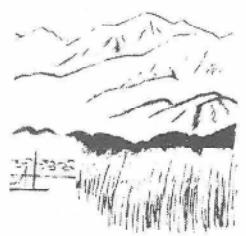
海蔵地区においては、どんな動きが町名などにありましたか。

二、野田村のおこり

野田の地名由来は、三滝川、海蔵川が形成した湿地地から名称づけられたものといわれます。これら海蔵地区を知る手がかりとして、昭和三十年海蔵小学校刊行の「海蔵小誌」があります。地名の由来は定説化していませんが、野田村

に関する記事があり、随分参考になります。

野田村の開拓については、「野田は、生桑や坂部方面から移住し、新田を開拓したが、三滝川と海蔵川の両川との戦いは開祖以来続けられた。野田にも南島と北島の区別があり、その開拓者を異にしている。(約五〇〇年前)」と記述されています。この文の根拠として「神領給人引付」「倭名抄」などを引用していることや、「神鳳抄」の記録によるとこ



海蔵地区の地名を調べて その四

四日市市総務課 主幹 森 逸 郎

ろから興味をそそられます。

応和二(九六二)年に三重郡は伊勢神宮領荘園となりましたが、鎌倉時代に書かれた神宮領の目録ともいえるべき「神鳳抄」に「野田御園七反」を引用しておきながら、約五百年前に野田村の起源を求めているのは如何なものでしょうか。少なくとも平安時代後半には、野田村の集落が存在したことが推定されます。また、神宮領荘園として、室町時代ごろまで存続したものと考え

られます。

三、江戸期の野田村

野田村の江戸期前半の資料は乏しく、その支配の変遷さえ不明瞭であります。

しかし、江戸初期はともかく、中期からの様子は何とか

格好がつくほどにその支配の変遷が知れます。江戸前半は幕府直轄地(天領)であったのが、享保十一年隣接する末永村とともに有馬氏の支配となります。

有馬氏は、八代将軍徳川吉宗の時、旗本側用人から一万石の大名として、この野田、末永両村などを加封された藩です。このことは、同年隣接の東西阿倉川両村を加封されて大名となった加納氏も同様で

す。

有馬氏は、初期には河曲郡神戸西条に陣屋をおき、寛延二(一七四九)年からは同郡林崎において野田・末永両村を支配しました。西条も林崎も、今は鈴鹿市の一町をなしています。

野田村の斗代(石高)は、明治大学所蔵の「伊勢国高郷帳」によると、四八九石余りでした。

また、陣屋から村を治めるにあたり、村には庄屋、年寄、

百姓代をおきました。普通、「村方三役」とか「地方三役」と言います。野田神社の棟札から、それら役人の一部が知られています。

村方から陣屋に差出される書類に「村方明細帳」があります。それには村高、家数戸口、人数、男女本百姓・水呑百姓別、道路、橋、井堰、寺院、神社、村境など、当時の村内の地理、地誌的な内容の殆んどを含んで書き上げられています。

野田村明細帳は、幸いにも江戸期後半のものが保存されています。東京にある徳川林政史研究所に所蔵されていて、当時の野田村の諸色が詳細に知れます。

四、水との戦い

野田村は、古来より絶えず水に悩まされ続けてきた。早天となれば、上流と下流との水引き争いが、また、豪雨ともなれば洪水に、それも上流域の破壊が最も恐れられた。

明治年中、野田村と末永村がその村境の山家堤をめぐって争ったのもその一例であって、他に、延享三(一七四六)年生桑村との出入の例もあります。

各家文書をさがせば、まだまだ知られない江戸時代の野田村の動きは発見されると思います。

五、資料収集にご協力を

四日市市は、昭和五八年十月より史料調査委員会を発足させ、市内各所にねむる歴史の史料の所在調査に努めています。



ます。

特に海蔵地区のそれは少なく、何とか皆様のご協力をお願いして収集したいと考えております。家の奥の隅っこに古びた書きものがあつたりしたら、焼いたり、捨てたりする前に、私共市総務課、または海蔵地区市民センターまでご一報下さいませんか。後世に正しい歴史を伝えるため……是非お力添えの程お願い致します。



編集後記

グリコ・森永事件はいつになったら解決するやら……。市内北部で起きた小・中学生の怪人二十一面相二世事件は、背筋の寒い思いが致しました。やはり、大人社会の反映以外の何ものでもないでしょう。もうすぐ春。花見が昨年のようにならずにと念じて。

編集委員会